

Leader's TOPICS

森への期待

NPO法人 かながわ環境カウンセラー協議会
 NPO法人 全国森林インストラクター神奈川会
 一般社団法人 日本森林インストラクター協会
 理事 自然環境部会 水産学博士 品川高儀



全国森林インストラクター神奈川会は、設立時には100名の会員と会費収入だけの厳しい財政状況でしたが、幸いにも第61回全国植樹祭のイベントに応募して指名を受けることができました。これを契機にかながわジュニア・フォレスター教室や県立四季の森公園における自然観察会、神奈川の身近な自然を訪れる一般観察会など、森林保全活動、小学校への出前授業などさまざまな活動を続けています。県立四季の森公園では、自然観察会ガイドをしながら新人会員の技量向上を図る活動も取り入れ、現在では、会員数164名が豊かな自然に恵まれた神奈川県の特性を活かして様々な活動に取り組んでいます。

現在でもイベントの企画や依頼があると、①毎月1回の月例会に諮り、理事会で承認を得た後、会員へネットを使ってスタッフを公募、②実力のあるスタッフがリハーサルをし、書面で解説して新しいプログラムとスキルアップを行って本番に臨み、③森の面白さと楽しさを伝えています。本物を五感で観察させています。

また、環境活動による社会貢献をするための具体的な

方策として、次の項目があります。①新学習指導要領などの教育計画との整合性を確保することが求められます。「学習のねらい」はいつも考え方を整理して、説明できるようにし、②「生きる力を育む」(基礎的・基本的な知識や技能の習得、思考力・判断力・表現力の育成)が新学習指導要領における一番の大きな理念です。③子どもに鋸、剪定バサミ、ナイフ、包丁の使い方その他、たき火や炭火の熾し方、ご飯作りを体験させます。ここで学べば次の大地震が来た時にも鍋や火を上手に使うことで生き延びることができると考え、小学3、4年生にキャンプ体験をさせています。防災教育の大切さを理解下さい。④このために三点セット(活動のしおり、安全計画書、進行シナリオ)が重要で、安全計画書は必ず事前に現場を歩いてチェックし、対策を講じています。⑤子どもは10年経つと大学生になり、自然体験教室においても次の世代の指導ができ、大人から子どもへと自然体験活動のバトンをつなぐことができます。これが力になり、さらにはこの力が文化になると信じています。